



令和3年度

修善寺中学校学校経営構想

教科
学力の向上

特別活動
高め合う集団

道徳的実践
思いやりの心

生徒指導
正しい判断力

学校教育目標

こころざしをもち、仲間と共に高め合う生徒
めざす生徒像：自分をひらき、未来を拓く

【国・県・市の教育施策】

- ふじのくに「有徳の人」づくり大綱
- 静岡県教育振興基本計画
- 伊豆市教育大綱 ○学校教育の目標
- 「ふるさと伊豆に誇りをもち、夢やこころざしをもって心豊かに生きる子どもの育成」
- 新中学校設立準備委員会の発足

< 本年度の重点目標 >

ICTを活用した確かな学力(学習する力)を身につける
自治力と協働性を育て、自己肯定感が育まれる人間関係を育成する
感染予防を心がけ、体と心の調和を図り、
健やかな心身を育成する
地域や社会のつながりを実感し、故郷を大切にする気持ちを醸成する
「チーム修中」として同僚性を発揮し、学校運営の工夫・改善を進める

- 生徒の願い
- 保護者の願い
- 地域の願い
- 教師の願い

学習する力

- 1 基本的学習習慣の確立
- 2 伝える力の育成とICTの活用
- 3 家庭学習の充実と確実に定着

生徒会活動・行事

- 1 自己肯定感が生まれる人間関係づくり
- 2 ねらいとつながりを意識した行事の精選
- 3 どの子も活動できる企画・計画の工夫

生活環境

- 1 時を守り、場を清め、礼を正す
- 2 「きれいな学校」をつくる修中清掃の実践
- 3 規範意識と自浄能力の育成

豊かな心

- 1 学級、学年への所属感が高まる人間関係づくり
- 2 命や人権への意識を高める道徳教育
- 3 地域とのつながりを実感できる学習や活動

学校経営の目標

どの子も意欲的に取り組む分かる授業と家庭学習の充実

- ☆授業がなるほどわかったと実感できた生徒(A-60%以上)
- ☆「考える」授業になる工夫(A-55%以上)
- ☆家庭学習時間の目標達成(A-40%以上)

生徒の主体的な活動を通して、自己肯定感を育む

- ☆自分の役割を果たしたと感じる生徒(A-75%以上)
- ☆自分にはよいところがあると思う(A-40%以上)

健康でたくましい体づくりと、命の大切さを学ぶ活動を推進する

- ☆居場所があり学校にいい感じがない(A-45%以上)
- ☆病気、けが、感染症を予防し、健康で安全な生活をする(A-75%以上)

【学びのステージ】

《第5期》感謝

- ・新たな目標
- ・感謝の気持ち

《第4期》向上

- ・実力を伸ばす
- ・意識を高める

《第3期》団結

- ・創りあげる喜び
- ・みんなで協力

《第2期》挑戦

- ・真剣な取り組み
- ・具体的な目標

《第1期》仲間

- ・自分の役割を果たす
- ・友達のよさを見つける

地域のよさや特徴を学び、地域やふるさととのよさを実感する

- ☆ふるさと修善寺を大切に思う(A-65%以上)
- ☆地域の行事やボランティアに進んで参加する(A-35%以上)

学年部や分掌の組織の連携を図り、信頼される学校づくりを進める

- ☆指導部や学年部が連携し、組織的に運営している(A-35%以上)
- ☆子どもの様子を積極的に公開している(A-30%以上)

教職員が心身ともに健康で、「やりがい」を感じる職場環境づくり

- ☆勤務時間の効率化を図り、勤務時間を削減する(前年比95%)
- ☆教職員と家族の幸福のために、勤務・サービスの厳正を図る(不祥事0の継続)

< 本校の教育課題 >

- 1 自主的に学習する習慣を身につける
- 2 思いやりの心で人と接し、社会性の伸長を図る
- 3 相談体制を構築し、一人一人に寄り添う指導の推進
- 4 ネット環境の中で健康を保持増進する態度と実践力
- 5 挑戦し、失敗や困難を乗り越えたりするたくましさ

地域の現状

生徒の実態

生徒に寄り添い
支援する教職員

授業力向上を図る
ための教員研修

教育活動を支援する
PTAやキャロットクラブ

豊かな自然と
地域の教育力

学校を支える力